

# city & life

都市のしくみとくらし

no. 107

spring

2013

特集

シティホール  
——市庁舎の新潮流



表紙・裏表紙——シティホールプラザ  
「アオーレ長岡」(関連記事:p9) photo:秋山由樹

特集

シティホール——市庁舎の新潮流

|          |   |    |
|----------|---|----|
| contents | 寄稿   市役所とシティホール   日端康雄  | 2  |
|          | 対談   これからの市庁舎 まちづくりのコアになる場所   隈研吾×五十嵐太郎   | 4  |
|          | ケーススタディ   町と人をつなぐ「ノード」としての市庁舎   | 9  |
|          | <p>シティホールプラザ「アオーレ長岡」  市民との協働でつくる「町の“ナカドマ(中土間)”」</p> <p>山梨市庁舎   工場のコンバージョンで、明るく伸びやかな庁舎をつくる</p> <p>宮代町庁舎   公共建築が育んだ、町民との合意形成のかたち</p> <p>伊根町庁舎・コミュニティセンター「ほっと館」  分棟形式の小さな集落のような町庁舎</p> |    |
|          | 連載   震災復興Report④   「減災」をキーワードに、産官学とメディアが連携  |    |
|          | 宮城県多賀城市「減災リサーチパーク構想」  | 31 |
|          | 連載   都市を拓いた人々⑥   鶴岡   高橋兼吉 近代化のシンボルをつくった棟梁  | 35 |
|          | 連載   relay essay 私の好きなまち・くらし⑥   日口交流の歴史を刻む  |    |
|          | 函館(箱館)のまち   戸沼幸市  | 39 |
|          | back number・information   | 40 |



# シティホール—— 市庁舎の新潮流

特集

ストックホルム市庁舎は、ノーベル賞の記念晩餐会を開催する場としても知られる。欧米で一般に、「シティホール」と呼ばれる市庁舎は、行政の事務所としてだけでなく、複合的な機能をもっていることが多い。そしてそれらは、広く「市民」に開かれた場所である。2012年4月、新潟県長岡市に誕生した「アオーレ長岡」は、自ら「シティホール」と銘打つだけあって、日本では初めての、本格的な複合型市庁舎といえそうだ。ただ最近は全国的に、市庁舎／町庁舎の有り様が、従来とは変わりつつある。民間企業のビル（工場）をリノベーションした市庁舎、市政運営に対し、積極的に市民との協働を取り入れている町庁舎など、さまざまなタイプが誕生している。いわば、「シティホール」化しつつある市庁舎／町庁舎から、これからの公共建築を考える。 photo:秋山由樹「シティホールプラザ〈アオーレ長岡〉」(関連記事:p9)